

目次	・新年のご挨拶 ～病院長～	・・・1.2	・部署紹介 ～放射線科～	・・・5
	・News 1	・・・ 2	・健康寿命と健康診断	・・・6
	・News 2. 3	・・・ 3	・新入職員紹介、編集後記	・・・7
	・News 4	・・・ 4	・外来診療表	・・・8



新年のご挨拶

病院長 矢野 智彦



明けましておめでとうございます。

平成27年も佳き年でありますように、共に祈念致しましょう。

昨年も大変な年で、それを象徴するような年末総選挙の慌ただしい中に幕を閉じました。当院も同様で、地域包括病床の導入及びその運用の面で皆様に随分汗かかせ、知恵を出して頂きました。その努力の下、昨年7月の平均病床稼働率は97.8%と過去最高を維持し、同時に平均在院日数も、昨年10月からの新たな要件もなんなくクリアし望ましい成果を得ることが出来ました。

今後、地域の皆様の在宅生活の安心を支えるために、院内の効果的な病床運用と共に病診連携・病病連携の絆を確かなものにするよう努めたいと思います。

当院は現在、以下4つの基本方針を柱として取り組んでいます。

- ①2次医療圏の中核の1つとしての役割
- ②地域包括医療の役割
- ③当院の特色での役割
- ④健診の役割

①としては、救急対応のための5つの重症室と、一般病棟がそれに当たります。十分対応しているつもりではありますが、当院では対応困難な病気に関しましては、熊本市の大病院群がありますから、これまで通り病病連携の運用が重要です。

②は地域包括病床をどのように活用したら、患者さんを早く安心して在宅や社会へ復帰、支援できるかという点です。この点に関しては昨年より菊池郡市医師会が整備がなされている在宅ネットワークシステムを始めとした、ヘルパー、訪問看護師、ケアマネージャー、訪問薬剤師、訪問歯科診療等の各機能との十二分な連携が必要で、当院も連携室を中心に積極的に取り組んでいるところです。昨年当院では27床の地域包括病室を整備し医局、看護部、MSW、リハスタッフと協働し在宅生活復帰を目指しています。又、リハスタッフは現在13名のPT・OT・STが頑張っておりますが、リハビリ部門18名体制整備を急ぎ更なる強化を図っていきたく考えています。在宅復帰にもっと時間がかかる方、あるいは医療必要度が高く在宅や特養等での生活が困難な方のためには、医療療養病室・介護療養病室で支援して参りたいと思います。

③は腎臓内科・透析センター及び糖尿病センターがそれに当たります。48台の透析器が柱のない空間で稼働していますが、新規の患者さんの受け入れが困難になりつつあり今年はこの問題に早急に対処する必要があります。糖尿病センターは昨年、教育認定施設を取得しました。療養指導士(CDEJ)も13名になり、療養指導、フットケアやSATシステムによる食育等で活躍しております。

⇒次のページへ続く

④の健診センターは、「心身の異常の早期発見によって、この地域の方々の健康寿命の改善に少しでもお役に立ちたい」を合言葉に活動しています。事業内容は、施設内健診、出向検診や学校健診(腎臓、心臓、小児生活習慣病等)です。諸種のオプション検査では、最近、睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査やAICSがんリスクスクリーニング検査も始めました。

今年も、以上の4つの柱は基本的には変わらないと思いますが、更に内容の充実にも努める所存です。2015年、25年、40年の問題の他、消費税10%が先送りされ、医療を取り巻く環境は益々厳し

いものになってきておりますが、私どもは、「かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆様に信頼され、愛される病院を目指す」ことを病院理念として今後も更に励んで参りたいと考えております。



(佐藤 敏信 先生)

News 1

2014/10/24(金)

菊池郡市医師会学術講演会を開催

～ 講師: 前厚生労働省健康局長 佐藤敏信先生 ～

平成26年10月24日(金)、当院多目的ホールにて前厚生労働省健康局長の佐藤敏信先生を講師にお招きし「超高齢社会における我が国の医療のこれから」と題して講演していただきました。

佐藤先生は、まず、厚生労働省がここ1年でやってきたことを振り返り、平成25年12月に施行された社会保障改革プログラム法案のスケジュールに沿って説明されました。その中で医療提供体制の見直し(病床の機能分化や連携等)に焦点を当て、税と社会保障の一体改革の考え方、財政を均衡に保つためには、①社会保障費の適正化を図ること、②入院医療費を抑制すること、③7対1、10対1の看護基準を適正化すること、即ち急性期医療の適正化を進める上、平成26年度の診療報酬改訂の主は、高度急性期病床7対1の削減、在宅復帰率に対する評価が背景にあると述べられました。

また、厚生労働省が急性期病床の機能分化を進める理由としては、超高齢化社会では急性期医療のニーズが減少する考えが根拠であると解説されました。

しかし、年齢階層別の救急搬送率を示し、その大部分が高齢者であり、高齢者の急性期病院への入院は療養病床や介護施設、在宅医療にすぐさま移行できるほど軽症ではない」と述べられました。熊本県においては、全国のなかでも急性期病床から回復期病床、維持期病床への連携がうまくとれている印象があると評価されました。

次に医療介護一括法の介護部分の中身については、①要支援1～2の人向けの訪問介護と、通所介護が、市町村事業へ移管されること、②来年4月以降に新たに特養に入居する人は原則として要介護3以上に制限すること、③高所得者の自己負担割合を2割に引き上げること、医療法の中の医療計画のポイントについては、知事へ医療の権限が強化されること、介護保険財源を医療介護の連携拠点づくりの推進に充てること等、いずれも平成27年から実施されると説明されました。

今回の講演を拝聴し、本院においても菊池の地域医療圏の中で病床機能を今後どのようにしていくか議論が必要だと改めて感じました。

News 2 2014/10/22(水)

夜間を想定した消防訓練を実施



平成26年10月22日(水)、4階病棟からの火災発生を想定して消防訓練を実施しました。病院においては、年2回の訓練が消防法で義務づけられておりますが、今回は病院内の職員が少ない夜間を想定し、医師や看護師が患者役の職員を迅速に避難誘導しました。また、水消火器を使った消火訓練も実施しました。訓練終了後は菊池北消防署から講評を受け、常日頃から火災が発生した際にどのように行動すればいいのかを考え、準備しておかなければならないと実感しました。



(通報訓練の様子)



(避難訓練の様子)



(消火訓練の様子)



News 3 2014/11/26(水)

隈府小学校4年生 社会科見学で来院

平成26年11月26日(水)、菊池市立隈府小学校4年生の児童36名・先生2名が、総合的な学習「住みやすい隈府の町」における見学のため、当院へ来院しました。

児童たちは熱心に院内のユニバーサルデザインについて学習しました。また、2分の1成人式(10歳)を迎える児童へ看護師の鷹木有紀子氏、理学療法士の福田佐起氏よりそれぞれ仕事について説明しました。



(施設設備の説明の様子)



(看護師、作業療法士の仕事についての説明の様子)





(ブルーにライトアップされた本病院)

News 4 2014/11/13(木)

世界糖尿病デーのイベントを開催

平成26年11月13日(木)、当院の糖尿病治療スタッフが11月14日の「世界糖尿病デー」に合わせ、糖尿病の予防・治療への取り組みの重要性を喚起する啓発活動イベントを開催しました。

世界糖尿病デーとは

拡大を続ける糖尿病の脅威を踏まえ、平成18年12月20日、国連は国連総会で、国際糖尿病連合が要請してきた「糖尿病の全世界的脅威を認知する決議」を加盟192カ国の全会一致で可決しました。同時に、11月14日を「世界糖尿病デー」として指定しました。この日は糖尿病治療に重要な役割を果たすインスリンを発見したバンティング博士の誕生日にちなんでいます。国際糖尿病連合では“Unite for Diabetes”(糖尿病との闘いのため団結せよ)というキャッチフレーズと、国連や空を表す「ブルー」と、そして団結を表す「輪」を使用したシンボルマークを採用。全世界での糖尿病抑制に向けたキャンペーンを推進しています。

当院多目的ホールにて、2回目の世界糖尿病デーのイベントを開催致しました。

今年は地域住民の皆様へも広報を行い、参加を呼びかけました。このイベントは地域貢献の取組みの一環でもあり、糖尿病センター長の田口先生の指導のもと、コメディカル、事務スタッフ一丸となり企画を練りあげました。当日は各職種の特徴を生かし、血圧・血糖測定、運動療法、薬剤相談、栄養管理、フットケア、医師の相談室を実施し、また初企画の地元ゆるキャラ“ころう君”による、ころう君体操や看護師による寸劇も好評でした。さらに夜の当病院ブルーライトアップは私達の心に残る思い出ともなりました。

「自分で健康を管理していく」という意識の芽生えに繋がるようなブルーサークル(糖尿病予防)活動をこれからも展開して行きたいと思えます。



糖尿病デーイベント実行委員長
副看護部長 佐藤 麻美子



部 署 紹 介

放 射 線 科



現在、当院の放射線科には1名の放射線科専門医と5名の診療放射線技師が在籍しています。医師の指示の下で、一般撮影、CT検査、MRI検査、X線透視検査など、主に画像に関する検査を行っています。院内や医師会員の先生方から依頼されたCT・MRI検査は、当日中に放射線専門医により読影され、結果報告しています。検査で得られた画像を取り扱ったり、放射線機器を安全に管理することも大切な仕事です。また、時間外の救急患者様にも対応できるよう、24時間体制(オンコール)になっています。

私たちは、患者様と接する時間は多くはありませんが、気配り、心配りを大切にしたいと思っています。



東芝製CT装置(320列)



東芝製MRI装置(1.5テスラ)



前列左から(矢野技師、本田先生、赤星技師長)
後列左から(児玉技師、田中技師、岡崎技師)

健康寿命 と 健康診断

「健康寿命」という言葉をご存じですか？

健康寿命とは、健康上の問題がない状態で、日常生活を送れる期間のことです。平均寿命から健康寿命を引くと、男性は約9年、女性は約12年となります。

この期間は、日常生活に制限のある「健康ではない期間」を意味します。だれもが最後まで、健康でいきいきとした生活を送りたいと願っています。しかし健康には関心はあるけれど、自分のこととなると毎日の仕事や生活に追われ、つい疎かにしてしまっている。そんなことはありませんか？健康診断は、そんな自分の健康状態を把握するのに良い機会です。

早期発見、早期治療につながるよう年に一度の健康診断、人間ドック等をご利用いただきますようおすすめいたします。これからの日々、一年一年を健やかに過ごし、健康寿命を全うしましょう。それでは、現在当院で実施しています健診をご紹介します。

【施設内健診】月～金、第2,4土曜日の午前中実施

1. 人間ドック
2. 生活習慣病予防健診、特定健診、個人健康診断等
3. 定期健康診断、雇入時健康診断、特殊健診（深夜業、有機溶剤、特化物、鉛健診等）
4. 労災二次健診
5. 教職員健診

【施設外健診】事業所からの出向依頼にて実施(出向健診)

1. 上記3、5の健診

【学校検診】

1. 腎臓検診
2. 心臓検診
3. 小児生活習慣病予防健診（肥満・やせを調べます）



【オプション検査】

頸動脈超音波検査、動脈硬化検査、腹部超音波検査、骨粗鬆症検査、胸部CT精密検査、前立腺がん血液検査(PSA)及び各腫瘍マーカー検査、他

また、今年度から次の検査がオプション検査として可能になりました。

① 睡眠時無呼吸症候群(SAS)スクリーニング検査

睡眠中の血中の酸素量から呼吸障害の程度を客観的に把握できます。

② アミノインデックスがんリスクスクリーニング検査 略してAICS(エーアイシーエス)検査

AICSは血液中のアミノ酸濃度を測定し、健康な人とがんである人のアミノ酸濃度のバランスの違いを統計的に解析することで、がんであるリスク(可能性)を評価する検査です。

⇒次のページへ続く

対象となるがんは、

男性AICS[4種]: 胃がん、肺がん、大腸がん、前立腺がん

女性AICS[5種]: 胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん・卵巣がん



ご不明な点がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

【菊池郡市医師会立病院 健診係】

TEL: 0968-23-7556 (直通) FAX: 0968-24-5522 (直通)

メールアドレス: 01_kenshin@kikuchi-med.or.jp

新入職員紹介

Introduction of new staff

(1月付)



ケアワーカー
今田 仁美

趣味・特技: 硬式テニス、ドライブ

笑顔を忘れず、患者さまの気持ちがわかるケアワーカーになりたいと思います。1日も早く仕事を覚えるように努力します。どうぞよろしくお願いいたします。



看護師
松永 洋子

趣味・特技: 陶芸、料理

10月に菊池に引っ越してきました。患者さまにより添った看護ができるようにがんばります。

編集後記



明けましておめでとうございます。

今年の干支は、未(ひつじ)ですね。羊は群れをなして行動するため、家族の安泰や平和をもたらす縁起物とされています。穏やかで平和な暮らしを送れるよう周りの方々への感謝の気持ちを大切に、メエ～メエ～泣かずに笑って1年を過ごしたいです。

広報誌「わ」では、今年も皆様のお役立てる病院ならではの情報をお伝えできればと思っています。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

菊池郡市医師会立病院 外来診療表

	午前/午後	月	火	水	木	金	土
総合内科	午前		児島 協	児島 協	松田 浩治		松田 浩治
糖尿病センター 代謝内分泌科	午前	矢野 智彦 古賀 荒太郎	田口 哲也 矢野 智彦	田口 哲也		矢野 智彦 古賀 荒太郎	田口 哲也
循環器内科	午前	予約	石坂 浩	古賀 敏	石坂 浩	熊大病院	古賀 敏
		新患	古賀 敏	石坂 浩	古賀 敏	熊大病院	石坂 浩
腎臓内科	午前					緒方 智博	
	午後		石田 秀太 緒方 智博				
消化器内科	午前			検査のみ	済生会 熊本病院		
	午後			検査のみ			
神経内科	午前			井上 泰輝			
放射線科 (CT・MRI)	午前/午後	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸	熊大病院

外来受付時間：午前8時30分から午前11時30分

診療時間：午前9時から午後12時

※内科・代謝内科、循環器内科の普通診療は午前のみとなります。ただし、救急の場合はその限りではありません。

※午後の腎臓内科は予約制となります。

※検査は予約制となります。

【病院理念】

かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指します。

【基本方針】

- ・チーム医療と地域連携に努めます
- ・より良い医療の提供を目指し、研修・研鑽に努めます
- ・自己満足に陥ることなく、業務改善に努めます
- ・病院の健全な運営を目指します



一般社団法人 菊池郡市医師会

菊池郡市医師会立病院

〒861-1306 熊本県菊池市大琳寺75番地3

TEL:0968-25-2191 FAX:0968-24-5762 <http://www.kikuchi-hosp.com/>

発行責任者：病院長 矢野 智彦

